



小川小学校

○ 考える子 ○ 優しい子 ○ 元気な子

学校だより



令和2年7月17日 No.13

《1と2はあまり差はないけど、0と1は全然違う》

6月中旬から通常授業が始まりました。しかし、年度当初にお知らせした日課表通りには進められず音楽朝会や読み聞かせなど、まだ実施できないことがあります。2学期に実施できることを願うばかりです。

さて、各教室を回ると1学期のめあてに「勉強を毎日最低30分やる！」という言葉がありました。継続的に物事をするという言葉に、ふと恩師の言葉を思い出しました。それは、「1と2はあまり差はないけど、0と1は全然違う」という言葉です。この言葉は、部活動の朝練習で「毎日素振りをしよう」という話になったときに教えてくださった言葉です。その恩師は「1と2、0と1は同じように差が1しかないけど、0と1の方はやったか、やらないかという大きな違いがあるんだ」と部員全体の前で教えてくださいました。

私もそうですが、何か努力をしようとしたとき、「たくさんやらないといけない」と思い込んでしまっていて、大変になって続けられないことが多々あると思います。少しでもいいから取り組むことが、やらないよりは何倍もよいこと。そして、継続もしやすいということをこの言葉から恩師の先生は伝えたかったのではないかと思います。

子供たちに何か継続して頑張らせようと思うことがあるときは、「1と2はあまり差はないけど、0と1は全然違う」という言葉を思い出していただき、継続することの大切さを教えていただければ幸いです。

《保護者の皆様にお願い》

今週の7月13日(月)の朝は、養護教諭が大忙しでした。検温を忘れた児童、朝から体調を崩している児童、登校中にけがをした児童などたくさん保健室に来校しました。(今週末の水・木曜日は1名でした。ありがとうございます)

検温を忘れた児童と体調の悪い児童は、管理棟1階西側(保健室のとは別の部屋)で対応するので、保健室に養護教諭がないことがあります。

保護者の皆様、朝のお忙しいところ誠に申し訳ないですが、登校前に検温して健康観察票に記入していただくよう、改めてご協力をお願いします。



【健康観察カードを確認する担任】



【検温を忘れた児童と体調の悪い児童の対応をする養護教諭】



《小川小学校 学習の取組》

《3年 国語「国語辞典を使おう」》

3年生の国語では、初めて国語辞典を使います。辞書の使い方を理解し使うことができることを目標にしています。4月に学習していますが、普段の国語の授業でも辞書を使う機会を多くしています。



《4年 国語「一つの花」》

「一つの花」の教材を通して学ぶ1つには、主人公「ゆみ」を取り巻く過去と現在を対比する部分があります。過去（戦時中）の言葉の中には、子供たちに聞きなれない言葉が出てきてます。その言葉を「視覚化・焦点化」して、言葉の意味を理解するための資料です。



【配給切符の写真】



【米は十つぶほどの汁物】

《短冊に願いを込めて》

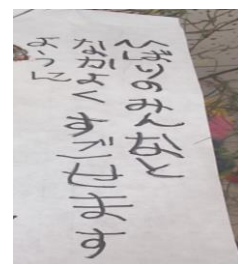
児童棟1階西側の「ああこすおがわ」の教室や2階ひばりの教室前に七夕飾りの竹竿があります。そして短冊には、一人一人の思いが書かれています。短冊の願いごとの中に「早く新型コロナウイルスがなくなりますように」と書かれているものが目立ちました。今年は小川町の七夕祭りが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となってしまいました。来年は、七夕祭りができるようみんなで力を合わせていきましょう。



【ああこすおがわの七夕飾り】



【ひばり学級の七夕飾り】



【願いがこもった短冊】

《小川小学校児童のちょっとしたいい話》

先日、ある児童が「マスクを忘れてしまったので貸してください」と職員室に来ました。校長が「次は忘れないでください」と伝え、マスクを渡しました。

その後、「この前は、マスクを貸してくれてありがとうございました。これを持ってきました。」と、自宅から新しいマスクを持ってきてくれました。その児童と保護者の方の気持ちにとっても感謝します。